

## 名寄市地域公共交通活性化協議会専門部会中間報告

名寄市地域公共交通活性化協議会  
事務局 名寄市総務部企画課

### 【はじめに】

令和元年5月29日（水）に開催された「名寄市地域公共交通活性化協議会」において、平成30年度から策定作業を続けていた「名寄市地域公共交通網形成計画」が承認され、名寄市の今後の公共交通の指針が策定されました。あわせて、この計画に基づく令和元年度の事業計画が承認され、施策の検討については専門部会にて議論を進めるよう、方向性が決定されました。

### 【議論の検討経過および方向性】

このことを受け、8月20日（火）に第1回専門部会を開催し、アドバイザーや専門部会委員の多くの出席をいただき、議論をスタートすることができました。

また、10月9日（水）と11月21日（木）にもそれぞれ専門部会を開催し、これまで合計3回の専門部会を開催したところです。

専門部会にて議論を深めた事業計画毎の検討経過および方向性は次のとおりです。

事業計画の施策名称	議論および検討経過	方向性
人口が多い地区における停留所の見直し検討	・現状維持でよく、あらためて見直す必要は無い	現状維持
路線バス及びタクシー乗務員確保に向けたPR・募集の取組みの実施	・第2回専門部会にて、10月26日（土）に旭川運転免許試験場にて「路線バス運転体験合同就職説明会」が開催される旨の報告を行ったほか、名寄市ホームページに掲載した旨を報告	同様の取組があればホームページに掲載する等の対応を行う
商業施設等の屋内でのバス待ち環境創出の検討	・現状維持でよい	現状維持
交通結節点における公共交通情報提供の検討	・経費をかけずにバスの接近を知らせる方法があれば検討していく	現状維持だが、今後安価な方法が開発されれば検討していく

事業計画の施策名称	議論および検討経過	方向性
<p>デマンドバス・乗合タクシー・タクシー等を活用した地域の足確保対策の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス路線の全面見直しを行い、バスを市街地中心に運行してはどうか</li> <li>・郊外路線をすべて廃止し、その財源を市街地路線の充実や買い物支援、通院支援にあててはどうか</li> <li>・市内のコミュニティバスのデマンド化による経費節減や車種を小型化してはどうか</li> <li>・東病院を含む周辺施設の移動手段確保について、コミュニティバス東まわり以外にも移動手段が考えられるので検討が必要</li> </ul>	<p>バス路線の見直しおよび東病院を含む周辺施設の移動手段確保については、専門部会での議論にとどまらず、次年度にセミナーを開催し、市民から意見を聞き議論していく</p>
<p>定額タクシー等利用者が利用しやすい運賃制度の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名寄大学生の帰省時期における都市間高速バスの予約が困難なことから、増便増発が望まれている</li> <li>・名寄市内の銭湯が廃業したことに伴う、ピヤシリ温泉や天文台への低額運賃を設定してはどうか。特に自宅にお風呂のない低額所得者に玄関口からの移動手段を用意して温泉利用してはどうか</li> <li>・名寄大学生の冬の移動が困難という現状があり、大学生の冬季間の移動の足の確保について議論。冬季間に限り大学生のコミュニティバス利用を無料とすることで、大学生の外出機会の増加やコミュニティバスの利用促進等の効果が期待できることから、次年度の実証実験の実施に向けて進めていきたい</li> </ul>	<p>都市間高速バスの増便増発は難しいと考える</p> <p>ピヤシリ温泉への移動は、バス路線が運行されているのでバスを利用していただきたい</p> <p>次年度の実証実験にむけて事業調整を進める</p>
<p>高齢者向け冊子の作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回専門部会開催時にバス乗車体験にあわせて使用。内容はおおむね問題なく、細部（挿絵の挿入等）について一部修正を行い、今後の出前講座等の場にて使用していくこととした</li> </ul>	<p>高齢者向け冊子が完成したことから、今後、出前講座等の場にて使用していく</p>
<p>老人クラブ等への出前講座の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名寄ピヤシリ大学公開講座（7月）</li> <li>・瑞生老人クラブ出前講座（8月）</li> </ul>	<p>引き続き実施</p>
<p>免許返納者へのインセンティブの検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運賃割引制度の設置や無料券または割引券の配布といった待遇があれば免許返納が進むのではという意見が出されたものの、現状では特段の対策なくとも免許返納者が増えていることから、急いで返納を促す対策を行う必要はない。しかし、免許返納後の高齢者足の確保は高齢者全体の課題なので、引き続き検討を行っていただきたい</li> </ul>	<p>現状では特段免許返納を促す対策を行わないが、高齢者の足の確保については引き続き検討する</p>
<p>新入生向け出前講座の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名寄大学新入生オリエンテーリング（4月）</li> </ul>	<p>引き続き実施</p>
<p>公共交通利用者への運賃負担や乗車証明によるサービスの検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定額タクシー等利用者が利用しやすい運賃制度の検討とあわせて議論を行った</li> </ul>	<p>定額タクシー等利用者が利用しやすい運賃制度の検討と同じ</p>

## 【名寄市の目指す公共交通網の姿】

令和2年度では次に掲げる施策を行い、名寄市地域公共交通網形成計画の策定趣旨である「今後の人口減少、高齢化社会の進行を見据え、恒久的に地域の足を守る」の具現化に努めてまいります。

	施策名称	想定する行程
新規施策	デマンドバス・乗合タクシー・タクシー等を活用した地域の足確保対策の検討として、 <b>市民から公共交通の意見を広く聞くためのセミナーの開催（要予算措置）</b>	R 2：セミナー開催 R 3：意見分析・事業者調整
	定額タクシー等利用者が利用しやすい運賃制度の検討および公共交通利用者への運賃負担や乗車証明によるサービスの検討として、 <b>大学生の冬季間の移動手段確保のための実証実験の実施（要予算措置）</b>	R 2：実証実験実施 R 3：実施結果分析
	その他の取り組みとして、 <b>イベントタイアップにおけるコミュニティバス降車無料の取組を終了し、市内イベントにあわせた啓発活動の実施（要内容等調整）</b>	随時実施
継続施策	高齢者向け冊子の作成および各種啓発活動時の配布	随時実施
	老人クラブ等への出前講座の実施	随時実施
	新入生向け出前講座の実施	毎年4月実施
	路線バス及びタクシー乗務員確保に向けたPR・募集の取組みの実施	随時対応
	交通結節点における公共交通情報提供の検討	R 2：安価な方法が開発され次第
	免許返納者へのインセンティブの検討	R 2：高齢者の足の確保について継続して検討

## 【おわりに】

第3回専門部会までの議論につきましては、北海道開発技術センター大井氏によるアドバイスや、専門部会委員の皆様から活発な発言をいただき、建設的な議論を重ねてきており、有効な専門部会を運営できておりますことを中間報告させていただきます。

令和2年度も引き続き、名寄市地域公共交通網形成計画に基づいた議論を進めるとともに、できることから、ひとつずつ取り組みを進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

